

ゲッコーパレード本拠地公演 絵画上演 no.1

とにかく絵の具を大量にかけるでしょう。そしたらあなたは目撃する。それが何であったかを。あなたと私が昔から、必ず線を引いてきたって事も。



2017.12.8 Fri. - 12.18 Mon.
於・旧加藤家住宅

テキスト:岸田國士『テロルの秋』
構成・美術:柴田彩芳
演出:黒田瑞仁
出演:崎田ゆかり、上池健太、河原舞
衣装提供・グッズ制作:YUMIKA MORI
照明協力:鈴木麻友

写真撮影・展示:瀬尾憲司
記録映像:絵空衣音
制作協力:飯塚なな子((劇)ヤリナゲ)
チラシデザイン:岸本昌也
主催・企画・制作:ゲッコーパレード
後援:藤市、藤市教育委員会

美術家からのご挨拶

今回、絵画上演『とにかく絵の具を大量にかけるでしょう。そしたらあなたは目撃する。それが何であったかを。あなたと私が昔から、必ず線を引いてきたって事も。』を作るにあたって、この長いタイトルを私自身で考えたにも関わらず、このタイトルに苦しめられた様に感じます。

寝たり、食べたり、誰かとおしゃべりしたり、たまに泣いたり、散歩したり、ここ最近で稀な程に落ち込んだり、また笑ったり、今日という日を少しづつ重ねて行くと、誰でも分厚い一枚の絵を描くことができると思います。それらの日々は、各々の画家によって、切り取られ、薄く割かれ、また貼られ、時には別のモノを持ってきて着けられ、コレジャナイ!と言って消されるのです。そんな創作は画家のアトリエで毎日行われ、そして本当に大切な何かを見つけます。今となってはタイトルがひとり歩きして当初の設定よりも色々な意味を内包している気がしますが、このタイトルはそんな日々を内包していて欲しいと思います。皆さんの毎日から、どんな絵がかけるのか、想像してみてください。

柴田彩芳

代表からのご挨拶

みなさま、本日は寒い中、旧加藤家住宅へようこそおいでくださいました。今日はこの一軒家を本拠地とするゲッコーパレードの「絵画上演」というシリーズ名を冠した作品をお目かけます。簡単に言えば美術作品として演劇をどう上演するのかという試みですが、これがどこから始まったのか、少しお話ししたいと思います。

2015年に旗揚げ公演をしたゲッコーパレードはおかげさまで、この12月に2周年を迎えました。去っていくメンバーもありましたが2017年は2人の新メンバーが加入しています。1人は俳優の上池健太、1人は現代美術家の柴田彩芳です。どうぞお見知り置きを。また今年はこの旧加藤家住宅の外でも、5本の公演をする機会に恵まれました。またいわば<旅の途中>で新メンバーを迎えたことで、今年最後の作品は改めて本拠地で発表したいと思うようになりました。

とくに柴田の加入はゲッコーパレードにとって大きな意味を持ちました。これまで<パレードのように>と意識して数多くのジャンルの芸術家と共同創作を行ってきた我々ですが、所属メンバーの専門は舞台芸術、しかも演劇に偏っています。自然と作品は「演劇公演」の形をとることになります。しかし独立した現代美術作家の柴田の加入により、創り出すものの形として「演劇公演」だけでなく「美術作品」という可能性も手に入れたのです。

今回は美術の分野の中でも、柴田が特に強い思い入れを持つ「絵画」として「演劇」を上演できないか、という些か無理のある題を自らに課しました。しかし、これは本当に無理なのでしょうか。絵画はきっと絵の具や筆を使って「絵画の表現したい何か」を表現しているはずだし、演劇だって俳優の演技を通して「演劇の表現したい何か」を表現しています。では、俳優の演技で「絵画の表現したい何か」を表現することはできないだろうかと考えました。自分で言っていてなんだか混乱してしまいましたが（実際に作っていたら更にこんがらがりました）、結果としては思ったよりもだいぶシンプルな作品になったように感じます。

柴田が提示したテーマの一つは「あなたとわたし」。使用する戯曲は岸田國士の『チロルの秋』です。欧州の旅空の下、日本人男性のアマノが異邦人女性のステラを口説き落とそうとする、恋の話です。人が恋をして誰かと初めて向き合う（あるいは向き合わない）ように、絵画も誰かに見られるのを待っています。

みなさんは絵画をご覧になるとき、どのように鑑賞するのがお好みでしょうか。もちろん、決まった見方はありません。ゲッコーパレードの絵画上演はどうか肩肘張らず、ゆっくり構えてご覧になっていただければと思います。

黒田瑞仁

今後の活動予定

TPAM2018 フリンジ参加プログラム

ゲッコーパレード出張公演 家を渉る劇 vol.2

『リンドバークたちの飛行』

作:ベルトルト・ブレヒト

訳:岩淵達治

演出:黒田瑞仁、柴田彩芳、本間志穂、渡辺

瑞帆(青年団)、市松(砂と水玉)、古賀彰吾

(劇団ドクトペッパズ)

出演:河原舞、崎田ゆかり、山本瑛子

日時:2018年2月10日-2月18日

於:旧里見弾邸(西御門サローネ)

——予約受付中!

【上池健太出演】

座・高円寺冬の劇場 30

劇場創造アカデミー8期修了上演

『戦争戯曲集 三部作』

日時:2018年2月22日-25日

於:座・高円寺1

【柴田彩芳制作】

京都市東山青少年活動センターにて作品展

示予定

日時:2018年3月25日-

ゲッコーパレード出張公演

崎田ゆかりの夜物語

『アラビアンナイト』

——ご協力いただけるバーを募集しています。

ほか多数!

プチ・パトロンチケット収益利用報告

2016年5月31日 音響機材(アナログミキサー)購入費として、11,664円

8月24日 照明協カススタッフ人件費(一部)として、20,000円

12月21日 オルガン運搬費として、21,698円

2017年11月1日 照明借用費として、56,492円

皆様に観劇の際にお支払いいただくチケット代金は、作品を創造・上演するための会場費・人件費・舞台費・文芸費・製作費として充てさせていただいております。

今回のパレード参加者のみなさま

飯塚なな子 磯野いるか 上池健太 河原舞 岸本昌也 黒田瑞仁 崎田ゆかり 柴田彩芳 鈴木麻友 瀬尾憲司 竹内朋子

鶴見勇人 森弓夏 山本瑛子 観客のみなさま

カリー&カフェ楽 出没!アド街ック天国